

# 「新しい東北」各施策の進捗状況

平成29年6月

◇ 地域づくりネットワーク	．．．	1
◇ 企業連携グループ	．．．	3
◇ 復興金融ネットワーク	．．．	5
◇ 「新しい東北」情報発信事業	．．．	6
◇ 共創イベントを通じた情報発信ソリューション構築事業	．．．	7
◇ 「新しい東北」復興・創生顕彰	．．．	8

(参考：平成27年度までに実施した施策)

◇ 「新しい東北」先導モデル事業	．．．	9
------------------	-----	---

# 地域づくりネットワーク

- 自治体、NPO、その他地域課題の解決に取り組む各種団体等に対し、伴走型支援を行う「地域づくりハンズオン支援事業」を実施。
- これにより、「地域での担い手の育成」を促進するとともに、普及・展開を図る上で必要となる「地域内での協力体制」や「地域外とのネットワーク」を構築。

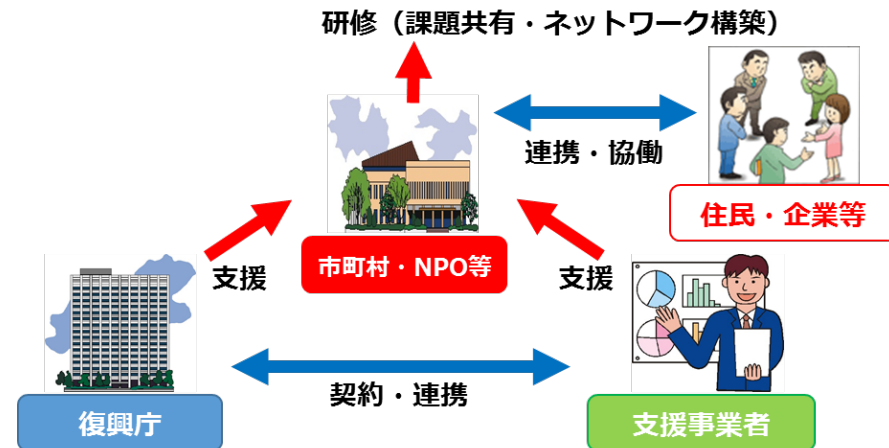
## 事業概要

### 1. 地域の担い手ハンズオン支援

- 自治体、NPO等に対し、復興庁・支援事業者がニーズに応じたきめ細かな支援を年間を通じて継続的に実施。
- ワークショップ開催支援、地域内外のネットワーク構築支援、有識者の招へい、専門家の派遣等を実施。

### 2. 地域の担い手育成に資する研修

- 地域での担い手育成や、取組の普及・展開を図るため、地域の担い手研修（交流会型・合宿型）を実施。
- ノウハウの共有や担い手のモチベーションの向上、ネットワーク構築を後押し。



# 地域づくりネットワーク

## 平成29年度地域づくりハンズオン支援事業 プロジェクト支援対象団体一覧

No.	団体名	プロジェクト名／取組概要
将来の地域を担う若者の育成		
1	一般社団法人SAVE TAKATA (岩手県)	りくぜんたかた次世代応援団立ち上げプロジェクト
		郷土愛の醸成や地域の柱となる人材を育成するため、学校や地域の大人たちとの連携による中高生に対するキャリア教育や地域学習を展開する。
2	国見町 (福島県)	「地域が育てる“若者”が創る地域」若者と地域をつなぐ 廻るプロジェクト
		若者が地域内外の様々な主体のネットワークと繋がりながら、地域ぐるみで多世代が交流・学ぶことができる場を創出する。
地域経済・なりわいの再生の担い手づくり		
3	多賀城市 (宮城県)	市民も事業者もWin-Win！TEAM多賀城でまちづくり！人材育成プロジェクト
		地域資源を活用した観光・地域経済の活性化に向け、民間事業者を主体としたリーダーの育成及び広域的な連携体制を構築する。
4	Uniy (Utsushi New Innovation Youth) (福島県)	Uniy ヤリマッセプロジェクト～地域の活力再興に向けたネットワーク整備と特産品「エゴマ」振興～
		特産品の販路開拓に向け、地域内の連携体制や世代や地域を超えたネットワークを構築する。
交流拡大等に向けた地域のネットワークづくり		
5	山元町 (宮城県)	人が人を呼び、人を育てるにぎわいまちづくりプロジェクト
		お試し移住やイベント・ボランティア参加などを契機に、多様なかたちで地域と関わる外部の「関係人口」増加に向けた幅広い地域態勢を構築する。
6	二本松市 (福島県)	情報交流人口増加、市民の誇り愛着心向上でのファンづくり縁づくりプロジェクト
		情報交流人口や交流人口、定住人口の増加に向け、市民と行政の協働、市民が主体となった地域づくりのためのネットワークを構築する。
地域の暮らしを支える態勢づくり		
7	筆甫地区振興連絡協議会 (宮城県)	地域住民の暮らしを支えるプロジェクトの構築と移住受入再開を通じた地域リスタートプロジェクト
		持続可能な地域づくりの実現に向け、地域全体で高齢者の暮らしを支える態勢づくりや若い世代の担い手育成、移住者の受入態勢の整備を推進する。
ソーシャルセクターが抱える課題の解決のためのネットワークづくり		
8	一般社団法人ワカツク (宮城県)	東北におけるソーシャルセクターの中長期的な組織・事業基盤構築に向けたビジョン・取組内容策定プロジェクト
		NPOの自立的・持続的な運営基盤の構築に向け、資金調達や担い手育成などの共通課題を集約したビジョンの策定及びビジョン達成に つなげる取組の試行とネットワークを構築する。

# 企業連携グループ

## 【被災地域企業新事業ハンズオン支援事業、専門家派遣集中支援事業】

- ・被災地域における新産業の創出につながる新たな事業へのハンズオン支援、専門家派遣による支援を実施。

## 【地域復興マッチング「結の場」】

- ・大手企業と被災地域企業とのマッチングを目的としたワークショップを開催し、対話の場を提供。

## 【復興に関する情報発信】

- ・企業の復興に関する事例集やメールマガジンの配信、フェイスブックなどによる情報提供、施策情報のデータベースを通じた支援情報の発信などを実施。

## 【販路開拓支援チーム】

- ・水産加工業等の販路開拓に向け、被災地支援に取り組む民間企業・団体等による交流会を開催。

## 被災地域企業新事業ハンズオン支援事業／専門家派遣集中支援事業

### 【ハンズオン支援】



水産加工業者等への支援  
(岩手県大船渡市)



ハラール認証対応レトルト  
食品の研究開発  
(宮城県岩沼市)

被災地域における新産業の創出につながる新たな事業(新商品開発、販路拡大、既存商品の付加価値化・生産効率化等)の実現に向け、民間企業出身の復興庁職員が経営課題を解決していくハンズオン支援を実施。

平成27年度より、豊富な経験・ノウハウを持つ専門家が、被災地域における新たな事業等を支援する専門家派遣集中支援事業を実施している。

### 【専門家派遣集中支援】



ビジネスホテルの立ち上げ  
支援(福島県富岡町)



商業施設の組織整備等支援  
(岩手県陸前高田市)

### 【被災地域企業新事業ハンズオン支援実績】

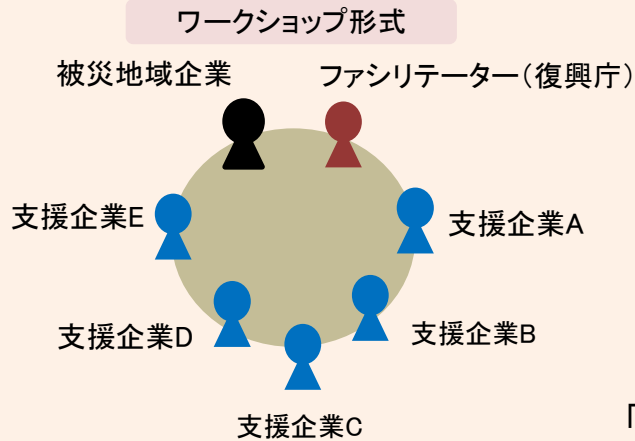
平成24年度：7件 平成25年度：7件 平成26年度：10件  
平成27年度：15件 平成28年度：11件

### 【専門家派遣集中支援実績】

平成27年度：21件 平成28年度：45件

# 企業連携グループ

## 地域復興マッチング「結の場」



被災地域の企業が抱える多様な経営課題の解決を図るため、大手企業等が、技術、情報、販路など、自らの経営資源を幅広く提供する支援事業の形成の場として、ワークショップを開催。



「結の場」ワークショップの様子

### 【ワークショップ開催実績】

平成24年度:石巻市、気仙沼市

平成25年度:南三陸町、亶理町・山元町、  
宮古市、福島市

平成26年度:南相馬市、多賀城市、  
大船渡市、気仙沼市

平成27年度:会津若松市、久慈市、女川町、  
広野町・檜葉町・富岡町・川内村

平成28年度:釜石市、山田町、  
相馬市、東松島市

## 復興に関する情報発信

- 産業復興の事例集の作成。
- 平成24年～28年度にかけて毎年発行。



- メールマガジンを発行し、自治体職員、支援機関スタッフ、商会議所・商工会の経営指導員等に、定期的に産業関係の各種支援施策情報を提供。

- 平成28年11月、フェイスブックの復興庁 公式アカウントを開設。現場での復興の進捗をはじめとした様々な取組を、タイムリーに情報発信。

## 販路開拓支援チーム

- 被災地の水産加工業が抱える「販路の確保」や「人材の育成・確保」の克服に向けて、被災地支援に取り組む民間企業・団体が一堂に会する「交流会」を、これまでに5回開催。
- 各団体が互いの情報を共有することにより、それぞれの強みを活かした連携を進め、民間企業等のノウハウを最大限に活かした新たなアクションに繋げる。

# 復興金融ネットワーク

- 官民連携推進協議会の下に、金融機関等から構成される「復興金融ネットワーク」を平成26年7月に設置。  
(平成29年5月現在、メンバーは35団体)
- 金融機関等に産業復興に関する情報を積極的に提供し、被災地での新たな資金供給の創出を目指す。官主導の取組による復旧から、民主導の取組による本格的な復興への橋渡し。
- 被災地の事業者に対して資金供給を呼び込むことを目指し、復興ビジネスコンテストを開催して優良な取組を発掘するとともに、事業化・事業の発展に向けた効果的な支援を実施。

## 【メンバーに対する情報提供・交流】

- 「交流会」等を開催し、復興庁及びメンバーの取組や、外部有識者による先進事例の共有、産業復興に関する意見交換を実施。

<参考：これまでの実績>

- ✓ 平成26年度
  - ・メンバーとの「意見交換会」を開催
- ✓ 平成27年度
  - ・2回の「交流会」を開催
  - ・その他、小グループでテーマごとの議論を行う「懇談会」も開催
  - ・金融機関による復興の取組をまとめた『復興金融事例集』を公表
- ✓ 平成28年度
  - ・3回の「交流会」を開催

## 【復興ビジネスコンテスト】

- 被災地における地域産業の復興や地域振興に資する事業・事業プランを募集



### ・平成28年度 大賞

株式会社JDSound

(宮城県仙台市)

「被災地石巻でMade In Japanのオーディオ製品を作ります」

- ・ポータブルに焦点を合わせることで大手との棲み分けが可能に。
  - ・新商品の製造を石巻の企業に委託し地域産業の活性化にも貢献。
- ✓ 平成28年度は大賞のほか、優秀賞3件、協賛企業による企業賞11件を表彰
  - ✓ 受賞者に対して、事業のPRを行う場の提供や、経営指導を行う専門家の現地派遣などのアフターフォロー支援を実施



# 「新しい東北」情報発信事業（平成28年度）

- 民間企業等とのコラボによる多様な発信ツールを通じ、東北の魅力や東北での意欲的な挑戦を広く情報発信。「食・酒・技・町・旅・人」をテーマに事業を展開。
- いずれの事業も、今回の成果を活用して「自走化」へ。

食

## （一社）東北風土マラソン&フェスティバル （東北の食材×マラソン・イベント×ランナー補給食）

- ランナーの補給食（ランメシ）として20品目選定し、エイドステーションにてランナー等へ提供。  
（来場者：45,000人、ランナー数：6,000人）

町

## （株）福島ガイナックス （福島全域の魅力×アニメ・サブカル×一般参加型の動画作成）

- 福島県全域で「マジカル福島2016」を開催。メイン企画として、福島PR動画を一般公募（430件）。
- 審査員により、9作品を選定し、ニコニコ生放送で上映（16,000人視聴）。

酒

## （株）ワールド・ヘリテイジ （東北の日本酒×女性ファン×酒蔵取材・SNS発信）

- 関西以西の百貨店で日本酒バーを開催し、日本酒好女性をファンクラブ会員に登録（12,000人登録）。
- 女性特派員が、東北各地の酒蔵を取材、動画をSNSで発信。

旅

## （株）オールアバウト （東北旅の魅力×外国人ブロガーによる発信×越境ECサイト）

- 外国人向けの特設サイト（All About Tohoku Resort）を新設、著名外国人ブロガー等を通じ、東北旅の魅力を発信（約800万PV）。
- 越境ECサイトで東北の工芸品等を販売。

技

## （株）文化放送、吉本興業 （東北の伝統工芸×よしもと芸人×ラジオ放送・イベント）

- 「よしもと住みます芸人」が東北伝統工芸の職人を取材、東京・大阪でラジオ放送。
- 「全国ふるさとフェア2016」(横浜)でイベント実施し、同イベントにおいてホヤをPR（来場者数:105,000人）。

人

## （一社）日本ジャーナリスト教育センター （東北に住む人々×ジャーナリストキャンプ×Yahoo!ニュース記事）

- ローカルジャーナリスト育成講座の開催（6県105名参加）。
- ジャーナリストキャンプ（合宿）を開催（11名参加）。
- 合宿参加者が記事を執筆し、Yahoo!ニュースへ掲載（記事11件、約75万PV）。

# 共創イベントを通じた情報発信ソリューション構築事業（平成29年度）

○「新しい東北」の様々な取組の成果の普及・展開や取組の自走化に向けて、共創イベント（アイデアソン等）の開催を通じ、情報発信力の強化や新たなパートナーづくり等のソリューションを構築。

## ＜事業の枠組＞

- 1：NPO、企業、自治体等から情報発信力の強化等を通じて課題解決したいテーマを募集
- 2：共創イベントを各地で10回程度開催
- 3：共創イベントで出されたソリューションの具現化までサポート

NPO、企業、自治体等の  
情報発信力の強化や  
ネットワークづくりを促進

## ＜ポイント＞

○共創イベントにより、様々な者からのアイデアや解決手法を活用して、「オープン・イノベーション」を実践。

OSNS等を活用し、事業の運営、成果等を内外に情報発信。



※アイデアソンとは、「多様な主体が主体的に集まり、主体間の相互作用を通じて、課題解決に向けたアイデア創出や新たな商品・サービス・アイデアの創造を目指す共創の場」をいう。

写真：GLSヘルスケアハッカソン(仙台)

## ＜「新しい東北」共創力で進む東北プロジェクト（第Ⅰ期）選定案件＞

○「ヒガシ・デ・アエル」～400年の復興まちづくりと歴史的商家のリノベーションによる文化・観光拠点の創造～

シネマ・デ・アエル実行委員会（岩手県）

○シェアリングエコノミーを活用した「共助」によるまちづくり・産業づくり

気仙沼市（宮城県）



# 「新しい東北」復興・創生顕彰

○東日本大震災の発災から5年が経過し、復興・創生期間に入ったことを機に、被災地を進む「新しい東北」の創造に向けた活動の普及・展開を促進するため、平成28年度から、「新しい東北」復興・創生顕彰を実施。平成29年度以降も継続的に実施。

## ＜選定手続き＞

### ＜公募＞

○自薦・他薦により、候補者を募集  
※NPO、企業、大学、個人等の幅広い民間を対象

### ＜選定＞

○事務局において応募結果を整理の上、外部有識者による選定委員会において選定（10件）

### ＜発表・式典＞

○選定結果を公表の後、「新しい東北」交流会において顕彰式典を実施

## ＜平成28年度選定結果＞

### ○「新しい東北」復興・創生顕彰

### ○「新しい東北」復興功績顕彰

（集中復興期間5年間の活動を顕彰。平成28年度限り。）

#### 【個人部門】

寺崎 幸季氏（岩手県立釜石高等学校3年）

小松 洋介氏（特定非営利活動法人アスヘノキボウ代表理事）

渡辺 正氏（合同会社かわうち屋職務執行者）

#### 【団体部門】

特定非営利活動法人wiz

一般社団法人マルゴト陸前高田

一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン

株式会社小高ワークスペース

「高校生が伝えるふくしま食べる通信」編集部

特定非営利活動法人TATAKIAGE Japan

グーグル合同会社

釜石リージョナルコーディネーター協議会

高橋 博之氏（東北食べる通信（特定非営利活動法人東北開墾））

一般社団法人石巻じちれん

宮城県多賀城高等学校

ツール・ド・東北 2016 実行委員会  
（株式会社河北新報社・ヤフー株式会社）

引地 恵氏（一般社団法人WATALIS・株式会社WATALIS）

特定非営利活動法人かーちゃんのカ・プロジェクトふくしま

特定非営利活動法人3.11被災者を支援するいわき連絡協議会

公益財団法人地域創造基金さなぶり

公益社団法人日本栄養士会

# (参考) 「新しい東北」 先導モデル事業

「新しい東北」の実現に向け、被災地で既に芽生えている先導的な取組を育て、被災地での横展開を進め、東北、ひいては日本のモデルとしていくため、先導的な取組を幅広く公募し、支援するもの。  
(平成25年度は66事業、平成26年度は95事業、平成27年度は55事業の計216事業を支援。)

## 【平成26年度及び平成27年度の事業例】

### 子どもの成長を育む地域の遊び場づくり

(宮城県仙台市・岩沼市)

ボランティア等の地域住民が積極的に参加する、新しい子どもの遊び場づくり活動を実践。災害公営住宅等における新たな地域コミュニティの形成にも寄与。



### 保育所等と連携した高齢者の健康づくり

(被災3県)

仮設住宅の高齢者が保育所・幼稚園で子どもと一緒に給食を食べ、ふれあうことにより、孤食の解消や、生活の不活発化を原因とする心身機能の低下等の課題に対応するとともに、高齢者の生きがいを創出。また、栄養士の管理栄養士が栄養指導を実施。



### 温泉熱を活かした六次化産業創出

(福島県福島市)

活力ある「エコ温泉地」を目指し、温泉熱エネルギーを活用した植物工場による野菜・果物栽培、バイナリー発電の冷却水を利用した陸上養殖等を実施。これらの生産物による六次化商品の開発や、エネルギー体験型ツアー商品の開発を実施。



### 津波避難訓練等における訓練プログラムの開発・検証

(被災3県)

沿岸地域の自治体へヒアリングを行い集まった課題、問題点をベースに複数の避難訓練プログラムを作成し、選択できるようにする取組を実施。また、避難訓練の習慣化を目的に、ワークショップ等のイベントと併せて訓練を実施。



### 浜の未利用資源の高機能性食品化

(岩手県陸前高田市・大船渡市・釜石市)

持続可能な地域産業の確立に向けて、市場では流通していなかった未利用の水産物を活用。「機能性」と「高付加価値化」に焦点を当てた新商品を開発。



### 地域におけるスマートフォン等でのカード決済の導入

(福島県会津若松市)

初期費用が低廉なモバイル端末を使ったクレジットカード決済の仕組みを、地域の小売店・飲食店等で一斉に導入し、消費の誘発による地域経済の活性化を図る。併せて、決済手数料の一部を地域に還元する仕組みを構築。



### インターンシップを通じたU・ターン促進

(岩手県大船渡市)

岩手県内外の学生が岩手県内企業でのインターンシップに参加し、地元企業の課題解決や新規事業に取り組むことにより、U・ターンに繋げることを目指す取組を実施。



### 地域協働の仕組みによるコミュニティ・産業の再生

(福島県いわき市)

仮設店舗を活用し、地域の特産品を活かした商品の開発、加工、販売までを地域住民が協働で行う。災害公営住宅に入居する高齢者への配達や仮設店舗までの送迎も行い、地域の買い物支援にも取り組む。

